

# みどりの風

vol.385

今月の表紙「冬の茶畠」

(撮影：山本 昭信 様)

第9回 未来に伝えたい農業・農村の風景  
フォトコンテスト 入選作品

2022

2

令和4年

■第27回JA熊本県大会の開催～県域JAの実現を目指して～

■熊本県農業政策・予算の要望を県へ提出

■JA九州沖縄地区青年大会が熊本で開催

■参議院議員 藤木しんや氏コラム ■参議院議員 山田としお氏コラム

■特集 農政連推薦の国会議員へ聞く！ 第2回 坂本哲志衆議院議員

■中央会・連合会からのお知らせ



あぜみち

本年の主な農政課題を挙げると、まずは世界的なコロナウイルスワクチンの接種率増加に伴う各国の経済回復に向けた取り組みの開始等で、燃油をはじめとした農業生産資材等の価格高騰が続いている。その対策が急務である。また、昨年5月に農水省が策定した「みどりの食料システム戦略」を受け、本県では「2050年県内CO<sub>2</sub>排出実質ゼロを目指す」と宣言しており、これを踏まえた本県農業の目指す方向性や具体策が必要となっている。消費者へ安全・安心な農畜産物の安定供給や地産地消による需要拡大を促すなど、「食料・農業・農村基本計画」に沿った食料自給率・自給力向上に向けた諸施策の実現による食料安全保障の確立は当然のことだ。

さらに、脆弱化する農業経営基盤の強化のために、将来の農業生産を担う新規就農者、担い手等への次世代対策とその十分な予算確保も重要である。

一方、今年の夏は組織内候補も出馬する参議院選挙が行われ、県農政連のプライドをかけた戦いになる。

「虎穴に入らずんば虎子を得ず」などの虎に関する」とわざは、我々の士気を鼓舞する古人の教えるが、県農政連としてト7年の本年は何事にも果敢にトライしていく所存である。

「群羊を駆りて猛虎を攻む」とあるように、盟友の皆様の一人一人がベクトルを合わせ、団結することが重要であると想ひつつある。協力を切にお願いしたい。

# 第27回JA熊本県大会の開催

## ～県域JAの実現を目指して～

J.Aグループ熊本は12月2日、益城町のグランメッセ熊本で「第27回JA熊本県大会」を開催しました。

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した会場には、県内のJA組合員やJA・連合会の役職員など、約1000人が参集、オンラインでも配信され、大規模な大会となりました。

「持続可能な食・農・地域の明るい未来づくり」「オール熊本」で挑む不斬の自己改革～」を主題とした今大会では、令和6年4月の県内14JAを合併した県域組織、「JAくまもと」設立を目指した「県域JAの実現」に向けた特別決議」が採択されました。

開催にあたり、JA熊本中央会の宮本隆幸会長は、「農業にとって大きな転換期を迎える今、農業政策や食と農に対する理解醸成などへの取り組みにJAグループが最大限に力を發揮していくなければならない」と述べました。

熊本の農業を発展させ組合員の営農と生活を守っていく、それを支え続けるために本県JAグループが県域JAの実現を前提とした自己改革を進めるための重要な大会」と述べました。

また、来賓挨拶に立った藤木眞也参議院議員は「これからも農家の所得向上につながるJA自己改革の後押しをさせていただきたい」と激励しました。大会議案は、本県の農業やJAグループを取り組むこととしました。

JAはJA構想について、今後、各JAで合併可否などの議論がなされ、合意が得られれば合併予備契約を締結、令和4年度中にも合併総会が開かれ県域組織の設立準備が本格化します。

大会議案の決議および特別決議の採択後には、JA経済連の丁道夫会長より議決内容の達成に向けた「大会宣言」がなされ、県青協の石本委員長、県女性協の太田会長らによる「がんばろう三唱」で、参加各組織の今後の取り組みを確実にすすめる決意としました。

「地域の活性化」の実現を目指し、基本目標を次のとおり設定しました。

【基本目標①】  
持続可能な食と農を支える自己改革サイクルの構築と実践

【基本目標②】  
持続可能な地域と人のつながりづくりに向けた協同組合の役割発揮

【基本目標③】  
食・農・地域を支える持続可能な経営基盤の確立



▲挨拶を行うJA熊本中央会の宮本隆幸会長



▲来賓挨拶を行う藤木眞也参議院議員



第27回JA熊本県大会

持続可能な食・農・地域の明るい未来づくり

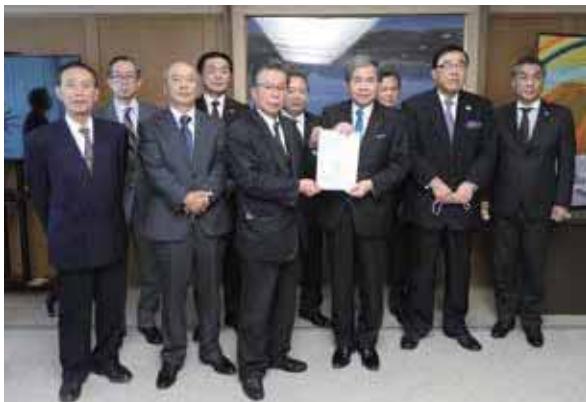


JAはJA構想の明るい未来づくり  
持続可能な経営基盤の確立  
JAはJA構想の明るい未来づくり  
持続可能な経営基盤の確立

JAはJA構想の明るい未来づくり  
持続可能な経営基盤の確立  
JAはJA構想の明るい未来づくり  
持続可能な経営基盤の確立

## 熊本県農業政策・予算の要望を県へ提出

JJA熊本中央会など熊本県内の農業関係13団体は12月22日、熊本県と県議会、自民党県連へ令和4年度の農業政策と予算確保を求める要望書を提出しました。



▲蒲島知事へ要望書を渡すJA熊本中央会の宮本会長と各団体の代表

要望は県下全JJAや連合会、関係農業団体等へのヒアリングを基に作成、取りまとめたもので、「農業農村振興、品目共通対策」として86項目、「品目別対策」として101項目、「金融・課税対策」として11項目の計198項目からなり、56事業、合計で約187億9200万円の要望となりました。また、そのうち重点要望事項として15項目（後掲）を挙げ、令和6年4月の県域JJA設立実現への取り組みに対する支援についても盛り込みました。

JJA熊本中央会の宮本隆幸会長は「JA熊本中央会など熊本県内の農業関係13団体は12月22日、熊本県と県議会、自民党県連へ令和4年度の農業政策と予算確保を求める要望書を提出しました。

「希望と意欲をもつて曾農に取り組めるよう、活力ある地域農業の振興のためにお願いしたい」と訴えました。

要望を受け、蒲島郁夫知事は「大事な食料の安全保障を守るために国、県で、皆さんと一緒に対応していく。農業や林業は地球温暖化を防ぐ役も担っている」と話しました。

要望書は、熊本県議会の小早川宗弘議長、自民党県連の前川收会長へも提出しました。

要望書は、熊本県議会の小早川宗弘議長、自民党県連の前川收会長へも提出しました。JA青年の主張などが上映発表され、「JA全国青年大会」への代表権を競いました。大会が熊本で開催されるのは6年ぶりとなります。新型コロナウイルス感染症やJA青年の主張などが上映発表され、「JA全国青年大会」への代表権を競いました。

## JA九州沖縄地区青年大会が熊本で開催

九州沖縄地区農協青年組織連絡協議会（JA九青協）は、12月13日にJA熊本経済連7階ホールで「JA九州沖縄地区青年大会」を開催しました。大会では、各地で選出された優秀な活動実績やJA青年の主張などが上映発表され、「JA全国青年大会」への代表権を競いました。

JA熊本中央会の宮本隆幸会長は開会で「日頃から、地域農業のリーダーとして九州農業の発展に大きな役割を果たしている青壮年部盟友に大変感謝している。この大会を契機に青壮年部活動の活性化と団結を高め、一層ご活躍頂きたい」と祝辞を述べました。

「組織活動実績発表」では、バレインショウの品種「デジマ」の生産から販売までの取り組みを伝えたJA島原雲仙（長崎県）の田島幹夫さん、「JA青年の主張発表」では、枝肉共励会のグランドチャンピオンに感銘を受け、繁殖農家としてのやりがいを見出したことを発表したJAさつま日置（鹿児島県）の尾塙武志さんが、それぞれ最優秀賞に選ばれました。「1分間動画コンテスト」では、JAくま青壮年部山江支部「RESTART 前進」が最優秀賞を受賞しました。



▲来賓祝辞を述べるJA熊本中央会の宮本隆幸会長



▲幹事県として挨拶するJA熊本県青協の石本勝也委員長

防止の観点から発表は各県で事前に撮影し上映、会場には各県の役員のみが参集し、大会の様子はオンラインで配信されました。

JJA熊本中央会の宮本隆幸会長は開会で「日頃から、地域農業のリーダーとして九州農業の発展に大きな役割を果たしている青壮年部盟友に大変感謝している。この大会を契機に青壮年部活動の活性化と団結を高め、一層ご活躍頂きたい」と祝辞を述べました。

「組織活動実績発表」では、バレインショウの品種「デジマ」の生産から販売までの取り組みを伝えたJA島原雲仙（長崎県）の田島幹夫さん、「JA青年の主張発表」では、枝肉共励会のグランドチャンピオンに感銘を受け、繁殖農家としてのやりがいを見出したことを発表したJAさつま日置（鹿児島県）の尾塙武志さんが、それぞれ最優秀賞に選ばれました。「1分間動画コンテスト」では、JAくま青壮年部山江支部「RESTART 前進」が最優秀賞を受賞しました。

最優秀賞に選ばれた組織・発表者は、九州沖縄地区代表として2月に行われるJA全国青年大会に出場します。

その他、組織活動実績発表ではJA鹿本青年部山本支部の茂見隆佳さん、青年の主張ではJAかみましき青壮年部清和支部の高橋俊行さんも優秀賞を受賞しました。

また、大会では、元JA全青協会長でもある藤木真也参議院議員から国政報告が行われました。

## 永田町でも百姓宣言

**新年を迎えて、今年はフル回転!**

語りて新春のお慶びを申し上げます  
平素より、盟友の皆様には格別のご支  
援とご理解を賜つておりますことに厚く  
御礼申し上げます。本年が農業にと  
りまして希望を持てる1年になります  
ようご祈念いたします。  
年末年始は地元で過ごし、JHAグル  
ープや関係団体の皆さまへのご挨拶  
で駆け回りました。年明けからは全国  
各地の関係団体へのご挨拶や、ご案内  
いたいた賀詞交換会などへ出席して  
まいりました。

先般、12月11日に熊本ホテルギャッスルで開催した「励ます会」には、新型コロナウイルス感染防止対策による人数制限もあるなか700名を超える方々に会場に足を運んでいただきました。盛会のうちに開催できましたのも、ひとえに皆様の心温まるご支援ご協力の賜物であります。発起人としてご協力いただいた皆様、来賓をはじめ当日々参集いただいた多くの方々、そして運営を支えてくれた県内のJAH役職員の皆様には深く感謝申し上げます。

当選して5年半が経過しましたが、これから農業と農村の明るい姿を目指し、私のモットーである「農家の声を国政に！」を貫いて精進してまいります。

【通常国会はじまる】

今月、第208回通常国会が召集されました。今国会は参議院議員選挙の日程上、延長困難な日程であります。



▲12月11日開催の励ます会にて

衆・参議院も通じ、強い読めたよくな  
緊張感を感じます。

まずは、予算委員として来年度予算の早期成立に全力をあげ、ポストコロナ社会を見据えた成長戦略を国主導で推進し、経済成長を図ることになります。そして、農林水産関係では、脱炭素や環境負荷軽減に資する「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた政策の推進が本格化します。持続可能な食料システムの構築に向け、基盤技術の開発、化学農薬・肥料の低減や有機農業の団地化など地域ぐるみのモデル的先進地区の創出、環境負荷軽減の「見える化」など消費者の行動変容を促す環境づくり等の取り組みを推進します。

農業生産の基盤強化と経営所得安定対策・国土強靭化を着実に進め、地域農業が健全に発展し、地域農業を支える多様な担い手にとってのメリットを引き続き、現場に寄り添った政策立案に向け働きかけます。

# 参議院議員山田としおの 農政問題に転り込む 「参議院の政策研究会への

と国家戦略特区での強行実施、やむなし  
は「メの先物取引市場などの議論の中  
で、党の部会で「到底認められない」と  
の決議と一緒に取り組むことになり、よ  
り森山先生の問題意識や行動に強く共  
感を得るようになります。

今後、農政課題は株式会社のさらなる参入や市場原理の導入、貿易交渉など、わが国の農業の将来を左右する重要な課題が続きます。そこで私は森山先生を中心とする政策研究会で仕事をする決意を固めました。誠に唐突ですが、皆さまのご理解と引き続きのご支援をお願いします。なおこれまで加入していた「参議院平成研究会」の関口会長からは「両方加入の例は現にあるから了解した」とおつしやつていただいています。皆さまのご寛容をお願いします。頑張ります。



## ▲藤木しんや君を励ます会にて 松村祥史議員、馬場成志議員とともに

# 坂本哲志衆議院議員

●政治活動を職務として行う上で  
信念にしていることは?.

## 多様な担い手で 地域に活力を



●当選を果たした今後の抱負は?

農村集落全体のモチベーションの向上を図る、そのためには多様な担い手を育成します。家族経営、集落営農、大規模農家、事業展開する農家、半農半Xなどそれぞれの営農形態に応じて、最も的確な支援を措置します。地域を守り人を育て、平坦部、中山間地などそれぞれに最も適した農業を開拓し、地域社会の活性化を推進することによって農業全体の底上げを図ります。

●日本(熊本)の「農業」への想いを

聞かせてください。

熊本県は全国的に最も多様な農業を展開しており、将来に夢を持つ事が出来る農業県です。米麦、果樹野菜、施設園芸、畜産酪農、茶など「農」のデパート県でもあり、それぞれの振興を図ることが、今後、全国各地域の農業のモデルとなって日本の農業をけん引していくことになります。熊本農業に大きな誇りを感じています。

●熊本県の未来は?  
展望を聞かせてください。

玉名、鹿本、菊池、阿蘇の県北地域、熊本市や宇城、上益城の県央地域、そして八代、芦北、球磨、天草の県南地域といった県内各地で最も地域に適応した農業が展開されています。一方で台湾の世界的半導体企業TSMCの誘致が決定するなど、先端技術や人材を農業に取り入れていくことによって、熊本の活力を生み出し、個人の所得を引き上げるべきであり、そのため主な企業との協力協定の締結なども必要だと考

べきですか?

農業の産業化と同時に社会政策として進めるべきです。農業を起点にして商工業(6次産業化)、福祉(高齢者対策)、保育・教育(幼児教育)、少子化対策

などに活動範囲を広げ、農村集落の活性化を目指すべきです。



▲自民党畜産・酪農対策委員会にて

常に多くの人と話をし、現場を見て、体で実感したことを国会で議論し、政策として実現させることです。一方で将来のべき日本の姿、地方の在り様を考え、次世代が担うことになる未来を見据えながら政治に携わっていきたいと思っています。

●県民へ発信したいこと、メッセージは?

熊本地震や球磨、人吉、八代、芦北の豪雨災害を経験した熊本県民は不屈の精神と結束力で二歩と復旧・復興への道を歩んでいます。この県民性を大切にし、農業も含めて以前より快適な環境で活力に満ち、若者が熊本に帰つて來たくなる熊本県をつくり上げたい。

そして、東京一極集中の国家ではなく地方分散型の国家形成のために、熊本県と県民が先頭に立つて我が国を引っ張つていきましょう。



▲森山裕元農林水産大臣と

JA中央会

JJA菊池・中野五十美さん最優秀賞受賞  
～熊本県家の光大会開催～

JJA熊本中央会と家の光協会は12月15日、宇城市的ウイング松橋で「第68回熊本県家の光大会」を開きました。教育文化活動の活性化が目的で、新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底したうえで、女性部や青壮年部、JJA・連合会の役員ら約400人が参加しました。

また、宮崎県都城市「みやこんじょ大使」などの活動をする相良照代さんによる記念講演「人生笑ったもん勝ち！」も行われました。その他の表彰は次の通りです。（敬称略）



## ▲記事活用体験発表をするJA菊池の中野五十美さん



▲JA熊本中央会の宮本隆幸会長から  
全国大会への推たい状を授与

池の中野五十美さんが最優秀賞を受賞しました。中野さんは来年2月の全国大会に県代表で出場します。

第44回ちやぐりん感想文全国コンクールは、左村青澄さん（長洲町立腹赤小学校3年）と杉本梨心さん（長洲町立長洲小学校3年）が優秀賞を受賞しました。

【中央会表彰】  
「家の光」特別普及 JAJA 菊池  
「家の光」12月号特別運動優績 JA  
=JAたまな  
「地上」11月号特別運動優績 JA  
=JA菊池  
「ちやぐりん」8月号特別運動優績 JA  
=JA菊池

【家の光協会表彰】  
「家の光」普及功労団体 JAくま  
「地上」普及功労団体 =JAかみましま  
「ちやぐりん」普及功労団体  
=JAたまな、JAやまつり

JA経済連

## 第20回RKK学童駅伝大会に協賛

JA熊本経済連は12月4日、熊本市のえがお健康スタジアムで開かれた「第20回JKK学童駅伝大会」に特別協賛しました。未来を担う子どもたちを応援し、県産農畜産物を提供して食と農の魅力をPRしました。2020年度は新型コロナウイルスの影響で中止されたため、2年ぶりの開催となりました。例年より多い約730人の参加があり、小学4年生から6年生の児童が、5区間8キロを駆け抜けました。

入賞チームには、くまもと黒毛和牛プレミアム「和王」や「くまもとのりんどうポーク」イチ」「ゆうべに」などを贈呈しました。併せて企画したお楽しみ抽選会では、お米「くまさんの輝き」70キロや「味彩牛」1万円分、冷凍炒飯セット、県産トマトなどの豪華

賞品を当選したチームに贈りました。また、参加賞としてお茶「湧雅の」「こちティーバッグ」などを参加した全児童に配布しました。

経済連の丁道夫代表理事部長は挨拶で「お米には運動に必要なエネルギーがたくさん含まれていて、食事はとても大切。日頃の練習の成果をしっかりと出して、入賞を目指して頑張ってほしい」と激励しました。



昌黎曹素功书画作品



▲園内の約730人の児童が駆け抜けました



▲挨拶をする丁会長

賞品を当選したチームに贈りました。  
また、参加賞としてお茶「湧雅のこちティーバッグ」などを参加した全児童に配布しました。

## 水前寺成趣園の清掃活動を実施

～自分たちの手で熊本の街を綺麗に～

J.A共済連熊本は12月4日（土）、熊本の代表的な観光名所であり、今年で築庭350周年を迎える水前寺成趣園（水前寺公園）の清掃活動を行いました。

この清掃活動は、地域貢献活動の一環として平成19年から毎年実施しているもので、同園での清掃活動は6度目となります。

開門前の午前7時に集合した役職員約130人は、出水神社・正面広場班、梅散策路班、桜散策路班と3つの班に



▲連携し手際よく落ち葉を集めました



▲清掃活動に参加した役職員

分かれ、園内散策路等に散った落ち葉を熊手やほうきを用いて丁寧に拾い集めました。

落ち葉を寄せ集める職員、それを回収袋に収集する職員と、スムーズな連携作業で公園の開門前には清掃を終了させることができました。

J.A共済連熊本は、これからも共済事業と地域貢献活動を通じて、地域との絆を強化し、豊かな環境づくりに貢献していきます。

## JA厚生連

### 血圧について

血圧とは、心臓から送り出された血液が血管の壁に与える圧力のことです。

よく血圧の上や下といいますが、方がありますが、上は心臓が収縮して血液を送り出すときの「収縮期血圧（最高血圧）」、反対に、下は心臓が拡張したときの「拡張期血圧（最低血圧）」のことをいいます。

収縮期血圧が140以上、拡張期血圧が90以上で高血圧と診断されます。

#### ●高血圧の種類

高血圧は大きく2つに分けられます。が、約9割は原因が特定できない「本態性高血圧」で、残る1割が別の疾患や薬剤の副作用等で起こる「三次性高血圧」となります。

高血圧の大部分を占める本態性高血圧は、高血圧になりやすい体质や、塩分の摂り過ぎ、肥満、過度の飲酒、喫煙、運動不足等の生活習慣が原因で発症すると考えられています。

#### ●高血圧の影響

血圧が上がった時は、頭痛や目まい、肩こりなどの症状が起こる時もありますが、多少血圧が高かったとしても自覚症状がないことが大半です。検査や治療をせずに高血圧状態を放置していくと、次のような合併症が起る可能性があります。

#### 脳に起る合併症

高血圧が続くことで脳の血管に異常が起こり、重篤な問題を生じる疾患を「脳卒中」と呼びますが、主に脳梗塞、脳出血、くも膜下出血に分けられます。

#### 心臓に起る合併症

高血圧が続き血管が硬くなると、心臓の負担も大きくなることで、心臓全体が大きくなり「心肥大」となり、心不全、狭心症、心筋梗塞等を引き起こすリスクが増加します。

#### 腎臓に起る合併症

腎臓の血管が硬くなり機能を低下させ、「慢性腎臓病」を引き起こします。腎臓は血圧を調整するため、高血圧も重症化していきます。

#### ●高血圧の予防と生活习惯

高血圧は、日々の習慣によって引き起こされていることが少なくないため、減塩、肥満解消、節酒、禁煙、運動を中心に、普段の生活习惯を見直しましょう。

また、定期的に健康診断を受診し、高血圧を指摘されたら、早めに医療機関に相談しましょう。





歌にしてお届け

JAグループ熊本

**Do You のうぎょう?**

合唱団

農業のあんなことやこんなこと

KAB 熊本朝日放送にて  
毎週金曜 夜7:54～放送中

身近な生活習慣病のリスクに備える保障

身近なリスクに  
**セセアール**

特定重度疾病共済

くらしの保障、相談するなら JA共済

21481050136



今年が旬の食べ物は？私の中で圧倒的存在感を放つのは「牡蠣（かき）」です。生ガキ、焼ガキ、カキフライや牡蠣鍋…食べ過ぎて気分が悪くなってしまっても、お腹を壊してもやつぱり毎年食べたくなります。

「海のミルク」とも言われる牡蠣には、鉄分やビタミンB12、亜鉛など栄養素が豊富で、免疫力アップやアンチエイジングの効果も期待できるとのことです。

でも食べすぎには要注意で、プリン体の過剰摂取は痛風、亜鉛の過剰摂取は頭痛や嘔吐、めまいなどを起こすそうです。ノロウイルスや腸炎ジブリオなどによる食中毒も多いので、体調が悪い時には特に気を付けてください。

この冬も体調を万全にして、美味しい牡蠣を食べに行くのを楽しみにしています。新年で気分も新たに、なんでも美味しく食べられる健康的な体作りから心掛けていきたいです。

今が旬の食べ物は？私の中で圧倒的存在感を放つのは「牡蠣（かき）」です。生ガキ、焼ガキ、カキフライや牡蠣鍋…食べ過ぎて気分が悪くなってしまっても、お腹を壊してもやつぱり毎年食べたくなります。

「海のミルク」とも言われる牡蠣には、鉄分やビタミンB12、亜鉛など栄養素が豊富で、免疫力アップやアンチエイジングの効果も期待できるとのことです。

でも食べすぎには要注意で、プリン体の過剰摂取は痛風、亜鉛の過剰摂取は頭痛や嘔吐、めまいなどを起こすそうです。ノロウイルスや腸炎ジブリオなどによる食中毒も多いので、体調が悪い時には特に気を付けてください。

この冬も体調を万全にして、美味しい牡蠣を食べに行くのを楽しみにしています。新年で気分も新たに、なんでも美味しく食べられる健康的な体作りから心掛けていきたいです。



撮影：平岡 健三 様  
第9回 未来に伝えたい農業・農村の風景  
フォトコンテスト入選作品

あとがき